

福大ゆがわ調査隊 活動報告



湯川村って？



- 人口 約3200人
- 世帯数 約900世帯
- 行政区 32地区
- 主産業 水稻を中心とした農業
米の反あたりの収穫量は県内1位
- 県内で1番面積が小さい自治体
- 平地が広がり村内に山がない
- ふるさと納税寄付数県内1位

道の駅あいつ湯川・会津坂下について

- 2014年10月に現在県内で27番目の道の駅としてオープン(現在の道の駅の数30)
- 2つの自治体が共同で道の駅を整備したのは全国初の例
- 2年目の2015年には入込客数100万人突破!
- 農産物販売のほか近郊でとれた野菜を使った農家レストラン「くうべえる」や会津の物産、ジェラート販売も行っている

課題

湯川村の売上は物産全体の3.2%、農産物全体の14.6%(会津坂下町はそれぞれ50.3%、24.6%)であり、地域の差が大きい

湯川村の出荷者は24人で全体の12.8%(会津坂下町83人・44.1%)であり村民の出荷者の増大が課題となっている
(2015年度データより)



道の駅

あいつ

湯川・会津坂下



堂畑地区って？



- 人口 213人（男性103人・女性110人）
32行政区中4番目の人口
- 世帯数 49世帯
- 高齢化率 25.4%（村高齢化率 30.5%）
- 戸数47戸中農家34戸
- 空き家2件、空き地（更地）1件
空き家の1件は地域おこし協力隊を導入して活用予定
- 道の駅への出荷者3名
- キョウダイブン(兄弟分)という冠婚葬祭の助け合いをする習慣が残っている
- 青年団が2名しかおらずこれまで青年団が担当していた神楽は2016年度より休止

今年度の活動

日時	内容
2016年 6月14日	堂畑地区予備調査・湯川村役場訪問
2016年 9月3日～5日	堂畑地区本調査(聞き取り調査、アンケート調査) (4日には村の運動会や地区のお祭りに参加)
2016年 10月9日	新米祭り(福大生のブースを設け、堂畑マルシェを開催)、来場者アンケート調査
2016年 11月11日	収穫祭、地区の介護予防運動・にこにこ学級への参加 道の駅駅長への聞き取り
2017年 2月11日	県発表会(大学生の力を活用した集落復興支援事業)
2017年 2月21日	湯川村現地報告会

堂畑地区のお宝紹介



見つけたお宝は
60個以上！

堂畑地区地域資源マップ

堂畑の風景



夕焼け



稲穂の海



稲穂

養泉寺

集落のトキが
集まる場所



堂畑集会所

地区に欠かせない場所
なつかしい雰囲気、居心地が良い
中には写真などが展示されており歴史を感じる



花

公園のあちの道端に整備されて花が
植えられている。集落の人の手によ
って整備されている。花があると
道が彩りを増す。



放送局

交通安全や火災予防の際
に呼びかけが使われたり。
運動会などのイベントの際にも使う。



堂畑農村公園

子供達が元気良く遊ぶ堂畑農村公園。
遊具で遊ぶだけでなく、奥の開けた場所
ではキャッチボールも可能。



2つの掲示板

2つの掲示板があり、1つは農業
に関する、もう1つは集落に関する
ことが掲示されている。



御膳



田んぼの真ん中にある社。様々な
言い伝えがある不思議な場所。

用水路 阿賀川

川と水路が繋がっている。その水路には
メダカがいてキレイな水。水路は
集落の人々が共同で掃除をする
ことによりキレイに保たれて
いる。



お地藏さん

集落を見守っている。



①お米と田園風景

○ふるさと納税でも
人気のおいしいお米

- ・品種は主に「コシヒカリ」
- ・食べるだけではなく、一面に広がる美しい田園風景も堪能できる



②堂畑地区の「食資源」

2.根菜類	
品目	数
大根	
さつまいも	
里芋	
人参	
カブ	
ニンニク	
長いも	
ジャガイモ	
ばれいしょ	◎
ごぼう	○

60種類以上の
食資源が
見つかりました！

お米・・・4種類

・・・10種類

・・・16種類

・・・14種類

果実類・・・4種類

加工品・・・14種類

◎：栽培農家5軒以上

○：栽培農家1軒以上5軒未満

③子供神輿

○子供たちが「わっしょい」のかけ声とともに地区内を歩き回る

・家内安全や交通安全の願いを込めた寄付を集め、御神酒を配る

・約30年前から毎年行われるようになった



④バーベキュー大会

○堂畑地区内の公民館で開催されるバーベキュー大会

- ・ステージではさまざまな出し物が行われた
- ・若い人からお年寄りまで
80人以上が参加
→住民同士のつながりが強い！

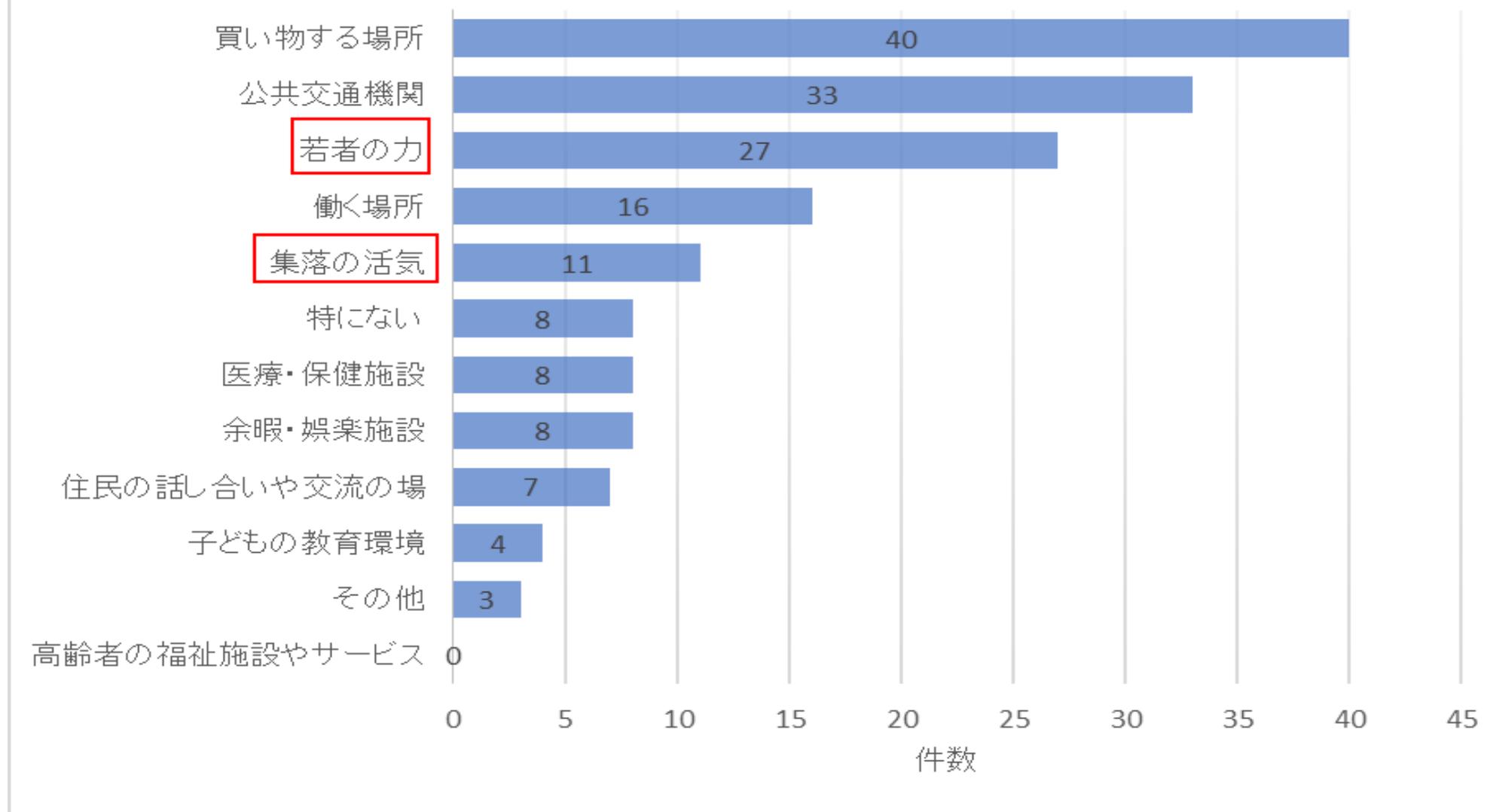


堂畑地区が抱える課題

SWOT分析から考える

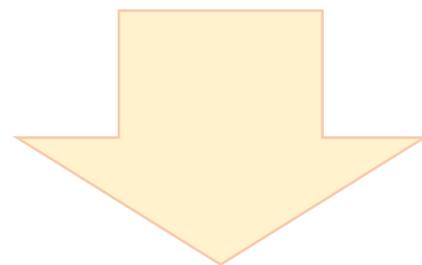
	地区内の環境	地区外の環境
プラス面	<p><u>S (強み)</u></p> <ul style="list-style-type: none">• お米がおいしい• 平野ならではの景色• 移住者の受け入れに好意的• 地区内の行事が多い• 農業従事者が多い• キョウダイブン(兄弟分)の関係	<p><u>O (機会)</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 道の駅• 農業、食に興味を持っている人が多い• 新規就農者への支援• ふるさと納税
マイナス面	<p><u>W (弱み)</u></p> <ul style="list-style-type: none">• <u>少子高齢化</u>• 空き家• 農業の後継者不足• 雇用先が少ない	<p><u>T (脅威)</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 米価が下がっている (農業＝儲からないイメージが強い)• 交通問題• 医療機関の不足• 認知度の低さ

堂畑地区に足りないもの、必要と思うもの



私たち学生でも解決できるもの……「若者の力」・「集落の活気」

住民が求めているもので「若者の力」「集落の活気」についてなら、
学生でも解決に向けたお手伝いができる。



この二つを
得るためには.....

若者が主体
となれる活動



住民の方々が
集まれる場所

学生からの提案

堂畑のお宝、野菜！

- ・ 道の駅で開催された新米祭りで、福大生が「堂畑マルシェ」で野菜を販売
- ・ 9名の方が計19品目出品



大変好評でした

堂畑マルシェ

2016年10月9日 道の駅収穫祭にて



提案 1

- ・「堂畑マルシエ」
を福島大学祭で！
- ・新米祭りで「堂畑マルシエ」
を今後も開催したい！

- 「私の野菜が売れた！」
- 「消費者に喜んでもらえて嬉しい！」
- 「身近にあるものがお宝だった！」



- 地域の魅力を再発見
- 地域を盛り上げようという

モチベーションアップ

- ・堂畑の農産物のPRにつながる

- ・「堂畑マルシェ」に地域おこし協力隊の方にも協力してもらい、住民の方々との橋渡しの場に

提案 2

堂畑活性化サロンの実施

月に1回、学生が
堂畑地区へ行き、
地区の方と交流



堂畑地区活性化サロンでは...

たとえば

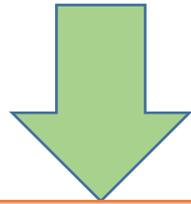
- ・花見
- ・お茶会
- ・料理教室
- ・芋煮会
- ・クリスマス会
- ・学童

など



サロンの効果

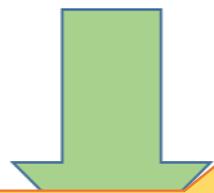
地区の若い人と学生が交流



- ・学生と地域住民との絆
- ・地域住民同士の交流
- ・現代版兄弟分になる！

提案 3

活動の様子や風景をSNSで発信



次世代に
情報を発信



#堂畑活性化サロン



ご清聴ありがとうございました